

おぢや

市議会だより



NO. 75

27.1.25

編集発行
小千谷市議会
☎83-3505

OJIYA CITY ASSEMBLY



小千谷市消防本部・消防署

小千谷地域の消防組織は、昭和24年8月に小千谷町で発足以来、昭和54年4月に川口町、昭和63年4月に山古志村の加入により1市1町1村の広域消防体制で取り組んできました。その後、山古志村及び川口町の長岡市への合併に伴い、平成22年3月31日から小千谷市が単独となり、長岡市川口地域の消防事務を受託し、「小千谷市消防本部・消防署」として現在に至っています。(昭和62年10月 庁舎完成)

- 第4回定例会議決結果 …… P2
- 常任委員会報告 …… P2~3
- 一般質問 …… P3~5
- 議会日誌 …… P6
- 雪あかり、編集後記 …… P6

—主な掲載内容—

第4回定例会 議決結果

12月8日から12月22日まで開催し、次のとおり議決いたしました。

条例の改正

- 小千谷市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市長及び副市長の給与額並びにその支給に関する条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部改正 (起立多数)
- 小千谷市職員の給与に関する条例の一部改正 (全会一致)
- 小千谷市立保育所条例の一部改正 (全会一致)
- 小千谷市国民健康保険条例の一部改正 (全会一致)
- 小千谷市道路占用料等徴収条例の一部改正 (全会一致)
- 小千谷市準用河川管理条例の一部改正 (全会一致)
- 小千谷駅前広場条例の一部改正 (全会一致)

平成26年度予算の補正

- 小千谷市一般会計補正予算(第5号) (全会一致)
- 小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号) (全会一致)

- 小千谷市介護保険特別会計補正予算(第2号) (全会一致)
- 小千谷市ガス事業会計補正予算(第1号) (全会一致)
- 小千谷市水道事業会計補正予算(第1号) (全会一致)
- 小千谷市工業用水道事業会計補正予算(第2号) (全会一致)

その他

- 専決処分(平成26年度小千谷市一般会計補正予算(第4号)) (全会一致)
- 小千谷市の公の施設(シルバーワークプラザ)の指定管理者の指定 (全会一致)
- 新潟県市町村総合事務組合規約の変更 (全会一致)
- 字の変更 (全会一致)
- 小千谷市教育委員会委員(新谷

- 梨恵子氏)の任命(全員同意)
- 小千谷市副市長(山崎淳氏)の選任 (賛成多数同意)

請願

- J Aグループの自己改革の実現に向けた請願 (採択)
- 消費税の10%への増税は「延期」でなく、きっぱり中止することを求める意見書の提出を求める請願 (不採択)

発議

- 米価下落への対策と緊急の過剰米処理を求める意見書 (全会一致)
- J Aグループの自己改革の実現に向けた意見書(全会一致)

議会中継

市議会ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。本会議当日のライブ中継のほか、録画映像もご覧いただけます。(録画映像は本会議終了後、通常、休日(土日・祝祭日等)を除く5日後からご覧いただけます。配信期間は1年間で、平成26年6月定例会の録画からご覧いただけます。
URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>

常任委員会報告

総務文教委員会

本委員会に付託されました議案9件のうち8件は総務文教委員会単独で、1件は民生産業委員会との連合審査会で慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。また、請願第10号については、採択しないものと決しました。

- 議案第84号 小千谷市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第85号 小千谷市長及び副市長の給与額並びにその支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第86号 小千谷市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第87号 小千谷市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

新潟県人事委員会の勧告に準じて、本給を全体で0.1%引き上げ、その配分は若い世代の給料を引き上げるなどの給与改定を行うものです。

- 議案第93号 平成26年度小千谷市一般会計補正予算(第5号)について

本案は、社会保障・税番号制度の導入及び農地法改正に伴う電算システムの改修にかかる委託料の増額、小千谷中学校の全国駅伝大会出場に伴う遠征費補助金、給与改定及び人事異動等に伴う職員人件費の補正を行うものです。これにより歳入歳出それぞれ3203万円を追加し、歳入歳出予算の総額を182億5832万3千円とするものです。

- 議案第96号 平成26年度小千谷市ガス事業会計補正予算(第1号)について
- 議案第97号 平成26年度小千谷市水道事業会計補正予算(第1号)について
- 議案第98号 平成26年度小千谷市工業用水道事業会計補正予算(第2号)について

本案は、主に職員の人事異動等に伴う人件費の補正を行うものです。

○議案第99号 平成26年度小千谷市下水道事業会計補正予算(第1号)について
本案は、主に職員の人事異動等に伴う人件費の補正を行うものです。

○請願第10号 消費税の10%への増税は「延期」でなく、きつぱり中止することを求める意見書の提出を求める請願
採決の結果、賛成少数で採択しないものと決しました。

○議案第89号 小千谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
本案は、健康保険法施行令等の改正に伴い、出産育児一時金について、支給額及び加算金額を改正するものです。

民生産業委員会

本委員会に付託されました議案8件について、慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。また、請願1件についても慎重に審議した結果、採択すべきものと決しました。

○議案第88号 小千谷市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について
本案は、子ども・子育て支援法の施行に併せ、保育の認定基準の追加・整備のほか、へき地保育所もこの条例に含め、条例名称中、保育所を保育園に改めるとともに、条文中の表現も保育園に統一した文言に改めるものです。

○議案第89号 小千谷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
本案は、健康保険法施行令等の改正に伴い、出産育児一時金について、支給額及び加算金額を改正するものです。

○議案第90号 小千谷市道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例の制定について
本案は、道路法施行令の改正に伴い、占用料等を改正するものです。

○議案第91号 小千谷市準用河川管理条例の一部を改正する条例の制定について
本案は、道路占用等との均衡を考慮し、土地占用料の工作物に電線等を追加するものです。

○議案第92号 小千谷駅前広場条例の一部を改正する条例の制定について
本案は、小千谷市道路占用料等徴収条例の改正に併せ、占用料を改正するものです。

○議案第94号 平成26年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について
本案は、職員の人事異動等に伴う人件費のほか、国県支出金等の過年度分返還金、社会保障・税番号制度システム整備負担金等の補正であります。

○議案第95号 平成26年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第2号)について

本案は、職員の人事異動等に伴う人件費の補正であります。

○議案第100号 小千谷市の公の施設(シルバーワークプラザ)の指定管理者の指定について
本案は、現指定管理者・公益社団法人小千谷市シルバー人材センターの指定期間が平成26年12月31日をもって満了となることに伴い、同センターを指定したいとするものです。

○請願第9号 J Aグループの自己改革の実現に向けた請願
本請願は、政府のJ A改革に対し、J Aグループは自己改革をし、食と農を軸に地域に根ざした協同組合として、農業振興や地域社会の活性化を目指して事業展開をするので、政府へJ Aグループの自己改革を尊重するよう意見書を提出していただきたいというものです。

会議録の閲覧

本会議の会議録(平成15年第1回定例会以降)は市ホームページからご覧いただけます。
会議録はパソコンだけでなく、スマートフォン、タブレットでもご覧いただけます。
(平成26年第4回定例会の会議録掲載は、2月末頃となります。)
URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>

市政の内容を聞く 一般質問

J R東日本の発電用水利権と共生策、市の魚について

田中 淳 議員

質問 J R東日本の水利権の再申請の状況と、市内の水利権者の取りまとめについて

答弁 水利権の期間が本年6月30日までであり、現在、期間更新の準備をしていると伺っている。水利権の取りまとめについては「小千谷市土地改良用水信濃川取水連絡協議会」が取りまとめ、J R東日本に要望している。

質問 電源立地地域対策交付金取得のための取り組みについて

答弁 新潟県市長会、北信越市長会などを通じて対象施設の拡大要望、併せて流水占用料に係る河川法の改正についても要望していく考えである。

質問 水力発電記念館を当市は、

電気のふるさととしてアピールし、観光客を呼び込みたいとしているが、誘客の具体策は。
答弁 記念館の展示内容については、興味を持って楽しめ、リピーターが見込めるような内容になるよう要望している。行政レベルでは、それによる交流人口が増え、市内の経済効果が見込まれることを望んでいる。
また、J R東日本の開発商品に、当市の特産物をのせてもらう方向で考えている。



質問 「錦鯉」を「市の魚」として制定したが、新市長の意気込みと、市役所庁舎での取り扱いについて。

答弁 このたびの庁舎耐震工事に当たって、池を含む前庭を駐車場に転用したが、「錦鯉の里」は庁舎から近い位置であるので、利用していただきたい。なお、庁舎での水槽等による飼育・展示については検討してみたいと考えている。

市長就任・在宅介護 支援金・歴史資料室 設置

本田 剛 議員

市長就任について

質問 市政に関する理念と重点施策

答弁 施策については、就任前と特段の変更はない。情勢を把握しながら今後の予算編成、総合計画策定の議論の中で対応していきたい。

質問 当市の将来の政策的展望について

答弁 当市の良い面として夜間人口より昼間人口が多い。このことは人口規模に比べ元気度が高く、可能性のある都市ということ。山間地域から平地地域があり地理的条件が違う中で対応を迫られている。

質問 総合病院開院と水力発電記念館の建設計画の変更や新規の説明報告はないか。

答弁 現在、変更等はない。

在宅介護支援金について

質問 在宅介護されている家族への支援金を増額してはどうか。

答弁 要介護3以上に認定の在宅介護の方へ月額8千円支給、更に市民税非課税世帯に介護用品購入給付券を年額3万6千円交付している。県内他市と比較

しても手厚い支援なので、今のところ増額は考えていない。

歴史資料室の設置

質問 他市では、いつでも見れる歴史資料室が設置されているが、当市でも旧若柝小学校の収蔵庫にある民具、埋蔵文化財などを、楽集館などで常時展示し、地域の文化、振興を考えてほしい。

答弁 必要に応じ楽集館などで企画展を開催したり、若柝民具収蔵庫の一部を使い地域団体と連携し、展示できるよう協議を進めたい。

小中学校の交通安全・ 市民提案型補助金事業 について

久保田陽一 議員

質問 加茂市長が加茂市内の小中学生になるべく自転車に乗らないよう呼びかける文書を配布した措置をどう捉えるのか。

答弁 加茂市の措置は加茂市長が加茂市民に対して発言したものであり、その真意を承知してはいないので見解を述べる立場ではないと考えている。

質問 子どもたちの安全確保のために、ヘルメット着用を求めたために、条例の制定が必要では。

答弁 必要に応じては。

答弁 当市では小中学校並びに保育園等と連携し、交通安全教室などを通じ児童・生徒・園児等への交通安全教育を進めてきた。したがって現段階では正しい乗り方の教育を進めることとし、条例の制定は考えていない。

質問 子育て支援の一つとして小中学生のヘルメット購入時に補助が必要では。

答弁 自転車事故の被害軽減にはヘルメット着用が非常に有効と考えており、一部の地方自治体では13歳未満の幼児・児童・生徒にヘルメット購入に対して補助をしているが、当市では補助事業ではなく、保護者等が個々の安全対策として考えていたと考えている。

質問 市内各地域で活動している各種活動団体に求めるものは。

答弁 自助・共助・公助の共助の部分を担当していただき、行政のパートナーとして協働して活力ある元気なまち小千谷の構築のために一緒に取り組んでいただきたい。

自転車ヘルメット



ちづくり活動支援補助金を地域の活性化に十分に活用いただき、市民活動を推進いただきたい。

人口減少対策・子育て 支援・米価暴落支援

長谷川有理 議員

質問 人口減少対策の課題は。

答弁 若い世代の結婚、出産が必要。そのため子育て環境の充実や働く場所の確保が重要。

質問 人口減少の課題解決のためにも国県との人事交流で人材育成を図るべきではないか。

答弁 受け入れ側と調整が整えば、実施したい。

質問 子ども、子育て支援策の具体的な計画予定は。

答弁 次年度地域の子育てサークルに出前講座を計画したい。

質問 ブックススタート事業を当市でも具体的に実施すべき。

答弁 実施に向けて検討を進める。図書館は築36年が経過し、手狭なため子育て空間の充実を図っていききたい。

質問 市男性職員の育児休業取得等の推進を図るべき。

答弁 これまで2名の取得者がある。今後も推進していく。

質問 庁議メンバーに女性0名の現状を変え、管理職の女性登

用を。知事も具体的数値目標をあげ研修を行うと表明したが。

答弁 人事は公正に行う。

質問 当市も登録しているハッピーパートナー企業のPRを。

答弁 県登録のため、登録実績は広報してこなかった。周知する。

質問 魚沼市水田賃借料支援を当市に当てはめると157名、532ha対象で1064万3千円の事業。当市でも支援策を。

答弁 国による収入減少影響緩和対策（ならし対策）があるので減収支援策は行わない。

質問 ならし対策の効果は不透明な部分もある。リーマンショック対策で緊急経済対策35億円等、当市は融資した。農業の減収は地域活力の低下につながる。支援策は大切ではないか。

答弁 今ある制度を活用してもらいたい。



12月の図書館ディスプレイ

柏崎刈羽原発に ついて

風間 健一 議員

質問 小千谷市の「地域防災計画（原子力災害対策編）」において、介護施設や病院などの施設の避難先の確保はできているか。

答弁 県のワーキングチームで、現在5km圏について検討中。当市を含む30km圏は、結論が出るまでまだ時間がかかる。

質問 柏崎刈羽原発で過酷事故が起きた場合、市民を安全に避難させることができるか。

答弁 市民を安全に避難させることは、行政としての責任をもってやり遂げなければならないと考えている。

質問 柏崎刈羽原発の過酷事故に対する実効性のある防災・避難計画は物理的に不可能と考える。廃炉を求めるのが当然と考えるが市長の考えは。

答弁 原発を含めたエネルギー政策は国策であり、国民的議論が必要と考える。

質問 福島原発過酷事故の原因も明らかになっておらず、収束の見通しも全く立たないにもかかわらず、東電と国は柏崎刈羽原発の再稼働に前のめりだ。しかし、このまま柏崎刈羽や全国

の原発の再稼働を許していけば、必ずいずれどこかで福島のような過酷事故が起きる。我々が秋に行った市民アンケートでは再稼働反対は7割だ。市民の安心安全を守る自治体の長の責務として、市民の「再稼働反対」の声を東電と国に届けていただきたい。

答弁 原発再稼働については、原子力規制委員会と県、柏崎市、刈羽村の判断を尊重する。エネルギー政策は国策であり国レベルで対応すべきと考える。ご質問にあるような行動は考えていない。



新市長の所信と 少子化対策について

阿部 正行 議員

新市長の所信について

質問 市長の政治姿勢について

答弁 公約の中で公正公平とは一党一派に属さず、民主主義に則って市政に取り組みたい。当市の将来展望について

答弁 安全安心や育み等諸施策を進めることで展望が開かれる。市民憲章「小千谷市民のねがい」に近づけるよう各種事業を展開する。

質問 地方創生について

答弁 国の総合戦略を勘案しながら情報収集をし第五次総合計画で方向づけたい。

質問 産業振興について

答弁 産業を振興し雇用を生み税金を上げることが極めて重要。当市は製造業、商業、農業等幅広い産業に恵まれている。国県と連携し人材育成等積極的に実施する。

質問 人生設計からの少子化対策について

質問 ときめきめぐりあい事業について

答弁 当市での婚活事業は、とよきめきめぐりあい事業のほか、市民団体がまちづくり活動支援事業補助金を活用して婚活事業を実施している。とよきめきめぐりあい事業の結果33人の人口増加になっている。

質問 晩婚化や非婚化について

答弁 これは現在の人口減少社会の要因の一つである。しかし、結婚、子育て等の不安を払拭し若い世代がライフプランを立てやすくすることは、人口減少社会の対応では大切なことであり、

庁内に人口問題対策プロジェクトチームを設置した。これは若い世代の就労、結婚、移住定住等ポイントを絞って検討し様々な施策につなげていきたい。

茶郷川改修事業推進・ 病院跡地を含むまち づくり

山賀 一雄 議員

茶郷川改修事業推進の取り組みについて

質問 県の河川整備計画に搭載されない理由は。

答弁 県は、これまでの経緯から、すべての地権者を含む地元住民の合意形成が必要との認識を持っていくため。

質問 改修事業の整備方策等について、沿川住民との協議・懇談をどのように進めるのか。

答弁 茶郷川治水協議会の活動を通じて、沿川住民との話し合いの機会を持ち、改修事業に理解を深めていただくよう努力する。

質問 副市長時代に、どの程度関係者と協議・懇談を行ったか。

答弁 県とは幾度となく協議を行ったが、地権者等との座談会・説明会には、治水協議会の会長

である前市長が出席していた。

質問 土地区画整理方式と直接買取方式のどちらが地権者等の理解を得られるか。

答弁 放水路の整備と一体的な開発を組み合わせる、土地区画整理方式が有力な方策であると考える。

質問 事業主体となる県との連携等について、どう考えるか。

答弁 県との連携は重要であり、情報共有のための協議等随時行い、連携強化に努める。

質問 病院跡地を含む中心市街地のまちづくりの考え方について。

答弁 中心市街地に空洞化を招くことのないよう、都市計画マスタープラン等との整合を図り、新たな中心市街地のまちづくり計画を策定したい。

質問 病院跡地利用の一つとして子育て支援センター、健康センター等の機能を備えた施設設置も考えられるか。

答弁 跡地利用については、様々な可能性について検討したい。

質問 跡地利用の検討を小千谷商工会議所でも行っているが、当市の関わりは。

答弁 検討会に2回ほど参加し、情報提供を行うとともに意見交換を行っている。

議会日誌 10月～12月

〈10月〉

- 7日 議会報編集委員会
- 8日 民生産業委員会行政視察
に出発（山梨県山梨市・
神奈川県南足柄市）
- 14日 議会報編集委員会
- 21日 議員協議会
- 23日 中越大震災10周年式典
- 24日 市道片貝環状線開通式
- 27日 岐阜県飛騨市議会行政視
察に来市
- 29日 民生産業委員協議会

〈11月〉

- 4日 政友会行政視察に出発（長
野県原村）
- 6日 兵庫県丹波市議会行政視
察に来市
- 11日 徳島県阿南市議会行政視
察に来市
- 14日 中越地区市議会議長会
（長岡市）
- 20日 総務文教委員会・教育委
員会委員学校訪問及び市
当局との懇談会
- 26日 議会運営委員会行政視察
に出発（滋賀県栗東市）

〈12月〉

- 1日 議会運営委員会
- 8日 第4回定例会（本会議）

- 9日 議会報編集委員会
常任委員会連合審査会
- 10日 総務文教委員会
- 11日 民生産業委員会
- 18日 議会運営委員会
本会議（第2日）
- 22日 議会報編集委員会
議会運営委員会
本会議（第3日）

市議会を傍聴してみませんか

第1回定例会開催予定

- 2月26日(木) 第1日 議案上程説明
- 2月27日(金)～3月5日(木) 各常任委員会で審査
- 3月16日(月) 第2日 一般質問
- 3月17日(火) 予備日 一般質問(質問者が多い場合に開催)
- 3月19日(木) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局(Tel.83-3505)へお問い合わせください。
委員会の傍聴については、あらかじめ議会事務局へお申し出ください。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>

お正月気分も、そろっと抜け
て各自、仕事や勉強へと社会生
活モードへの切り変えが終わっ
た頃かと思えます。

私の仕事は、紙箱や紙加工の
製造販売を昭和28年より行っ
ており、現在私で3代目となりま
す。

箱は本来、物を入れ保管した
り運んだりする物として利用さ
れてきました。そして使い方に
よって、また形状や材質によっ
てハコの文字も、函・筐・匣・
篋など使われてきました。日本
語は難しいですね。英語で表現
すればパッケージやボックスで
イメージできます。

箱に関するコトバの意味もお
もしろいものがあります。皆さ
んの家庭でも新年に神棚に新し



風間 尚夫（上ノ山）



57

い御札（神宮や土地の神）を供
えると思えます。1年間役目を
終えた御札を賽ノ神などで御炊
あげるまでに保管する入れ物を
「お祓い箱」と言いますが、現
代では「お払い箱」と間違った
意味（用を終えて不要になって
捨てること）に使われています。
また、日本古来からの箱とし
ては、行李（コウリ）、葛籠（ツ
ヅラ）、櫃（ヒツ）など大きさに
よって分類されているものあり
ました。おもしろい使い方では、
「箱入娘」など大切に育てた女
の子や貴重品を保管する「寶石
箱」など、まだまだ箱のつく単
語は多くあります。

改めて日本の言葉文化の深さ
に伝統と誇りを感じませんか？



編集後記

明けましておめでとうござい
ます。本年が、皆様にとりまし
て、幸多き年となりますよう心
からお祈り申し上げます。

今冬は、昨年12月半ばから本
格的な雪になりました。暖冬と
の予報は、大きく外れています。
しかも、水分の多い重い雪になっ
ています。今後の降り方にもよ
りますが、家屋の倒壊や雪崩に
は、十分注意する必要があります。
また、除雪中の事故にはくれ
ぐれもご注意ください。

今定例会は、大塚市長にとっ
て初めての議会となりました。
最終日には、副市長も決まり、
新しい小千谷市の出発です。議
会は、議決機関としての役割を
しっかりと果たすとともに、市民
の皆様の声が市政に反映されま
すよう、一層の努力をしてまい
ります。ご指導、ご鞭撻のほど、
よろしくお願いいたします。

